平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 4 - 20

_ 1 事務事業の表示							※ ■ : 該当				
事	事務事業名 交通安全対策特別交付金事業										
	価 者	担当課名	住民生活課		課	担当係名		住民活動係			
評		管理職 ・	職名		課長		作成者 作成者 氏名		職名	係長	
			氏名	渡邊孝司		ī]			南 慎一		
	業の概要	道路環境の割	を備を目	的と	して、交	通安全 対	策特	別交付	金によ	全体計画	/単年度繰返
		り、車両通行により視認しにくくなった区画線の塗装や、スノー ポールや標識等の設置を行っている。					(平成 20 国•道支				
事		ハールで伝説寺の改 旦を打つている。					事地方	-,			
7	来 07 1版 女								ず その	11.	
							費一般則				
										事業費	計 5,700 千円
実	施方法	直営			民間委託	ŧ		そ(の他()
第5期 総 台		計画(前	期)	■登載事業		Ě		非登載	載事業 優先		В
事業の位置付け		政 策 目 標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~									
		基 本 施 策 20 防犯・交通安全の推進									
		単 位 施 策 2 交通安全対策の推進									
		事務事業の	種類	重類 ■ 自治事務				法定受	定受託事務		
		その他計画・根拠等 交通安全対策特別交付金等に関する政令									
	実 施 年 度	20年度(実績	21	年度	(実績)	22年	度(実	[績]	23年度	医(実績)	24年度(見込)
	国·道支出金	1,114 <mark>千</mark> F	9	1,086		1,	1,158 千円		1,000 千円		1,000 千円
事業	地 方 債	千月	9	千円			千円			千円	千円
業費	その他財源	千月	9	千F			千円			千円	千円
負	雄武町負担額(一般財源)	186 <mark>千</mark> F	9	1	14 千円		42	千円		千円	千円
	合 計	1,300 千円	9	1,200 千円		1,	,200	千円	1,0	00 千円	1,000 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理 論上の成果指標)			
【抱える課題や ニーズは】	道路環境に起因する問題が交通事故発 生要因のひとつとなっている				
- 7137	上安国のいこうとなっている	指標(指標計算式/解説) 目標値及び実績値			
	路側帯やセンターラインの塗装、スノー ポールや標識の設置により、道路環境 を整備する	①区画線塗装実績延 目標年度 平成23年度 長/区画線塗装計			
【どのような状態 になることを目指		日標値 9,000 m			
したのか(意図)】		<mark>実 績 値</mark> 9,000 m			
		達 成 度 100.0 %			
【その結果、どの	交通事故の減少	②ポール購入実績本数 目標年度 平成23年度 / ポール購入計画本 一一一			
ような成果を実現		数 目標値 100 本			
したいか】 ※成果=目的		<mark>実 績 値</mark> 100 本			
次 成未一日的		達 成 度 100 %			
内容(どのような手段で何を行ったか)					
①道路区画線の 塗装	路区画線の 町道をパトロールして区画線が薄くなり視認しにくい場所を確認するとともに、交通量を勘案 したうえで塗装路線を選定し、区画線塗装を行った。				
②スノーポールの 購入	冬期間に路肩に設置するスノーポールについては除雪作業等による損傷があるため、毎年 購入して更新を行っている。				

	: TT (- 1)		裏			
3 事務事業の評価(Check) (1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業 を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)						
必要/概ね必要/ 課題あり	■ 義務的なもの ■ 全部 一部	当事業の財源である交通安全対策を目的としたものであり、また町道町が行うべきものである。	策特別交付金は、道路環境整備 の環境維持は道路管理者である			
(2)事務事業の有効	性(期待する効果が得られ	· いたか)				
有効 有効/概ね有効/ 課題あり	設定した目標値の達成 <mark>状況</mark> ■ 達成 はぼ達成 下回る	近年の交通事故件数は低い水準また、事業量についても破損や係極端な増減は無い。				
(3)事務事業の効率	性(コストに見合った効果)	が得られたか、計画上のコストを ⁻	下げる工夫をしたか)			
効率的 効率的 効率的 / 課題あり	判断の理由 事業費抑制 人員削減 時間短縮・作業軽減 ■ その他	道路延長は伸長傾向であるが、道 て整備箇所に優先順位を設けるな別交付金を有効活用してコストに	など、原資である交通安全対策特			
(4)事務事業の公平						
公平/概ね公平/公平でない	判断の理由	道路は不特定多数が利用する公から、公正性は保たれている。	共性の高い社会基盤であること			
4 総合評価【A~D】 A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等 自己評価(一次評価) 町長評価(三次評価)						
	Α					
計画どおりに事業がが維持された。	行われ、良好な道路環境					
今後の展開方	向					

計画どおりに事業が行われ、良好な道路環境が維持された。				
今後の展開方向 (Action)				
継続/現状維持	•	•		
円滑な交通の確保と交通事故事故防止のた め、今後も計画どおり必要路線に対して整備を 継続する。				
〇 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 〇 終了 〇 休止 〇 廃止				

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)				